

居場所サポートーズ CoCo いる講演会開催レポート

子ども・若者の声に耳を傾ける地域へ ～「虐待の子だった僕」から考える～

講師：一般社団法人コンパスナビ 代表理事 ブローハン聰氏

2025年9月28日（日）14時から16時

会場：鶴瀬西交流センター多目的ホール

一般社団法人コンパスナビ代表理事ブローハン聰氏をお迎えし、「子ども・若者の声に耳を傾ける地域へ ～『虐待の子だった僕』から考える～」というテーマで講演会を開催しました。

ブローハン聰氏は無国籍無戸籍で出生し、幼少期に母の再婚相手である父親などから虐待を受けていました。小学校へ入学し友達の家で温かい家族に出会い、近所の大人に見守ってもらいますが、虐待のことは誰にも言えませんでした。

11歳の時に担任の先生の気づきから虐待が発覚し、児童養護施設に入所。初めて衣食住が確保され、安心して眠れる場所を得ることができました。

その後、最愛の母が亡くなり自殺も考えましたが、母に胸を張れる人生を歩む決心をしています。これが今の活動に通じているのだと感じました。

19歳で児童養護施設を退所後、ブローハン聰氏は児童養護施設出身の当事者として様々な活動をしてきました。その中の一つとして、現在代表理事を務めいらっしゃる一般社団法人コンパスナビがあります。

一般社団法人コンパスナビは「つまずいても誰もが RE スタートできる世界を目指す」を目標に、埼玉県から児童養護施設退所者等アフターケア事業を受託して、就労支援・住居支援・生活支援など様々な活動をしています。それらの活動の中で、CoCo いるとして注目したのは居場所活動クローバーハウスです。「安心できる場所・交流できる場所・相

談できる場所」として活動している内容は、CoCo いるの考え方と通じるものがあり、共感することができました。

最後に、地域の大人としてできること・してほしいことについてお話をありました。「特別なことではなく、普段のかかわりの中で地域に戻ってきた時に温かく迎えてほしい。安心できる居場所であってほしい。相談できる場所を見つけておいてほしい」とのことでした。

今回の講演会で、CoCo いるの居場所活動が「安心できる場所」を提供し、スタッフが「温かく接してくれる大人」として必要とされていると再認識し、さらにステップアップしていきたいと感じました。



講演冒頭の様子



質疑応答では多くの質問が寄せられ、
活発に意見が交わされました。